PAGE2012 カンファレンス
CM4 コンテンツビジネスの変革をどのように捉えるか

2012.02.09

電子書籍アプリを作ってみての実感

（株）ムームー　代表：森川幸人
http://www.muumuu.com

chap.1

なぜ、最初に電子書籍アプリを作ったのか？

 (c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

なぜ、スマートフォン・アプリなのか？

・単純に新しいデバイスはおもしろい

・特別な日にすることと普通の日にすることが二極化してきている
　普通の日にする楽しみを提供したいなら、もっとも身近なデバイスであるべき

・指で操作という、もっともユーザーフレンドリーな入力メソッドである

・インターラクティブである、映像、音を再生できる機能がある

・通信機能が標準装備されているので、アプリの入手や告知が容易

・アプリ専用のデバイスでないこと（電話がかけられる！）　電子書籍専用のデバイスってどうなんでしょう？

・在庫、流通リスクがない

・ゲーム制作という過去の技術資産が流用できる

・老人にやさしい　最初の１ステップは大変だけど、スマートフォン、タブレットこそ老人ツール

 (c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

なぜ、電子書籍アプリなのか？

・「電子書籍」というネーミングにこだわった　「アプリ」という言葉は一般になじみがない
「ムービークリップ」「映像コンテンツ」という言葉は一般になじみがない
「書籍」という言葉は一般的。使う前から、どういう形態、どういう内容かがわかる

・ゲームアプリなどに比べて、制作難易度が低い　作り手もスマートフォンアプリは初めて
ひょっとしたら、紙の書籍よりコストが小さい？

(c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

chap.2

電子書籍アプリの強み、弱み

 (c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

【長所】

- 読み終わった後、ゴミにならない
- 買った書籍の置き場所に困らない
- 大量の本を持ち歩ける
- いつでもどこででも、手に入る
- 割安
- 誰にも見られず買える
- 図版がキレイ、ゴージャス
- 図版が動く
- BGM や SE が入る
- ユーザーアクションに反応する
- 読み終わった後、ゴミにならない
- 輸送→発売のコストが小さい
- 原材料費の変動が小さい
- バージョンアップが容易

 (c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

電子書籍の短所

【短所】

- モノとしての存在感がない
- 目が疲れる
- 電力がないと読めない
- 風呂の中で読めない
- デバイスが高価
- デバイスが重い
- デバイス、アプリの操作がむつかしい
- 中古として売れない
- 再利用（燃料や梱包材など）できない
- 価格イメージが低い

 (c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

電子書籍に適したジャンル

【長所】

- ○ 読み終わった後、ゴミにならない
- ○ 買った書籍の置き場所に困らない
- ○ 大量の本を持ち歩ける
- ○ いつでもどこででも、手に入る
- ○ 割安
- ○ 誰にも見られず買える
- ○ 図版がキレイ、ゴージャス
- ○ 図版が動く
- ○ BGM や SE が入る
- ○ ユーザーアクションに反応する
- ○ 読み終わった後、ゴミにならない
- ○ 輸送→発売のコストが小さい
- ○ 原材料費の変動が小さい
- ○ バージョンアップが容易

【適していると思われるジャンル】

- 新聞
- 雑誌
- エッセイ
- 人に見られたくない本
- 図鑑、辞典
- 広告
- カタログ、取扱説明書
- マンガ
- 絵本
- 教科書
- 音楽紙
- 料理本
- 数学、科学本

 (c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

傾向と対策

× 知っているものしか売れない

●売り上げを伸ばすには、強力な告知力が必要

→ iTunes Store の売り上げランキングに入る

→ 値段のコントロール

→ TOP 広告、What' HOT、スタッフのお勧めなどに入る

→ app bank などのアプリ宣伝サイトで取り上げられる

→ ニュースサイトで取り上げられる

→ 大量の広告を打つ

→ twitter 等で口コミの評判が広がる

→ Reward 型広告に参加する

× すぐに消されてしまう

●ロングテイルで売る

→ 継続的にアプリを提供してシリーズとして認知してもらう

→ 頻繁にバージョンアップして、「生きている」アプリにする

→ユーザーのリクエストに迅速に応える

× ほしいときに手に入らないなら、いらない

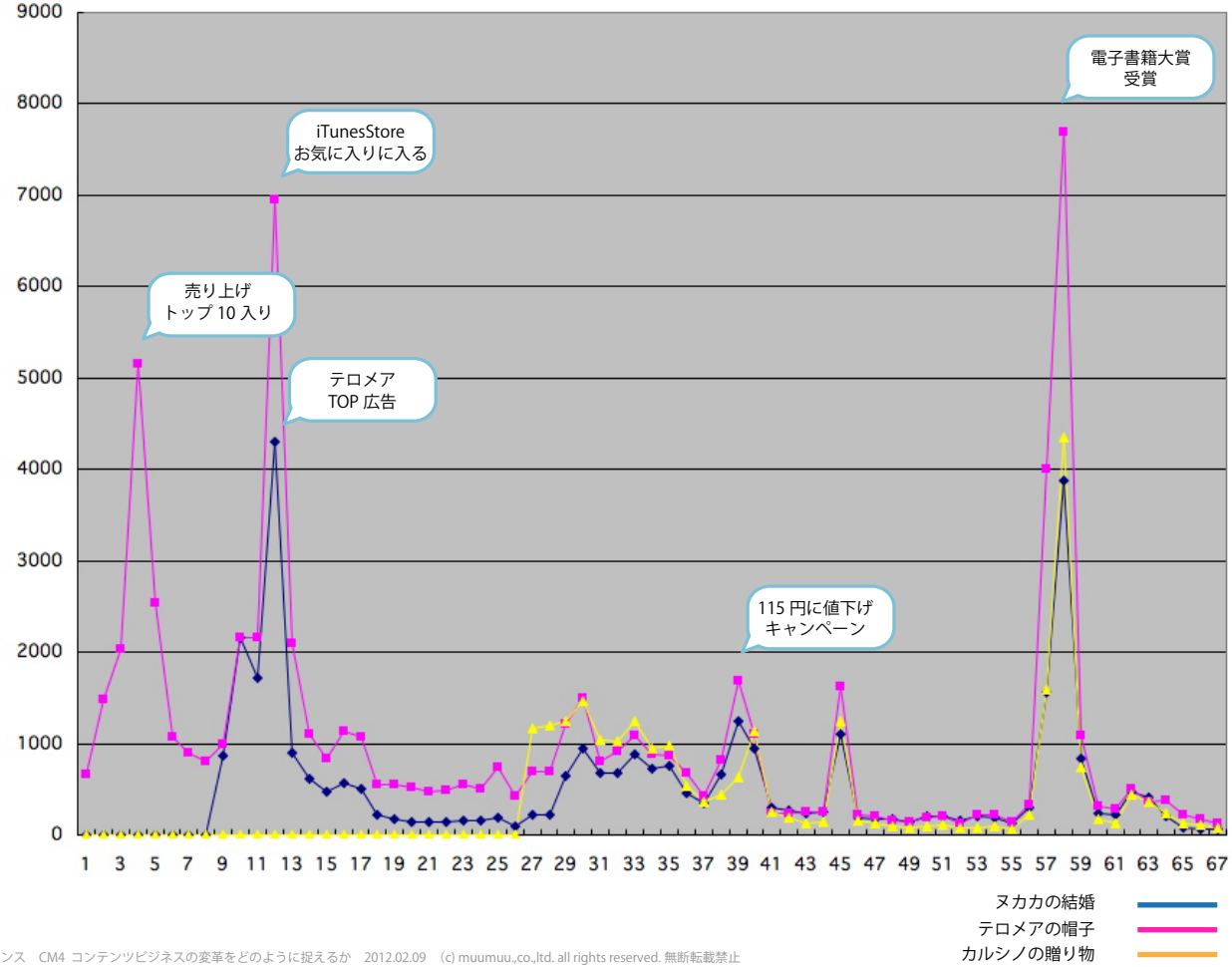
● iPhone から直接 DL できるようにする

→ アプリの容量を 20MB 以内に押させる

→ 無料版→有料版へのアップグレードの流れを簡単にする

 (c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

「ヌカカの結婚」「テロメアの帽子」「カルシノの贈り物」売り上げ推移（2010.04~2011.07）



 (c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

chap.3

ここが不満

 (c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

ここが不満

品揃えが命なのに　ニワトリ（市場）が先か卵（出版）が先かの議論の「答え」はわかりきっている

「鎖国」をやめてくれ！　ネットショップの独占性を考えれば、勝負はあきらか

大切なのは、内容なのかブツ（紙）なのか？　ロマンに逃げるな！

探したいモノをすぐに探せる仕組みを考えないと！　口コミ、特定の人のお勧めなど

感動や疑問を共有したい、お勧めしたい、自慢したい　SNSとのリンク

他業種の参入こそ、生き残りの道　ゲームもそうだった　電気自動車もそうなる

スマートフォンのアプリの中では、「電子書籍」は優等生　価格、ロングテイル　有料版購入率

中古市場、レンタル市場を作った方がいいのでは　紙の本にできて、電子書籍にできないことはないほうがいい

(c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

chap.4

こういうのが作りたい

 (c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

完璧を目指すよりまず終わらせろ
- Done is better than perfect -

Facebook CEO
Mark Elliot Zuckerberg

 (c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

こういうのが作りたい

・最初から完成形をわたす必要があるのか？　最新の情報に更新
その人の好みに更新（結果が変わるとか）
読んでる人が多いところの情報を増やす

・せっかくだから、動いたり、音が出たりする方が楽しい　半アニメ化

・ユーザーが全てをコントロールできる（＝インターラクティブにする）ほうが楽しい　紙めくりのエフェクトなんて小さな話

眼にやさしい UI の研究を急げ　文字の書体、大きさ、色、文字数、画面の明るさ

作った人が伝わる仕掛け　読み聞かせはもっとリアルに（リップノイズとか）

紙のサイズ、都合に縛られるな　原寸、とても長いとか、消せるとか、

紙の本の売り方に縛られるな　読んだ分だけ課金とか、だれかにプレゼントできるとか

紙の本の作り方に縛られるな　プッシュ型で提供するとか、その時間帯に合ったものを送ってくれるとか

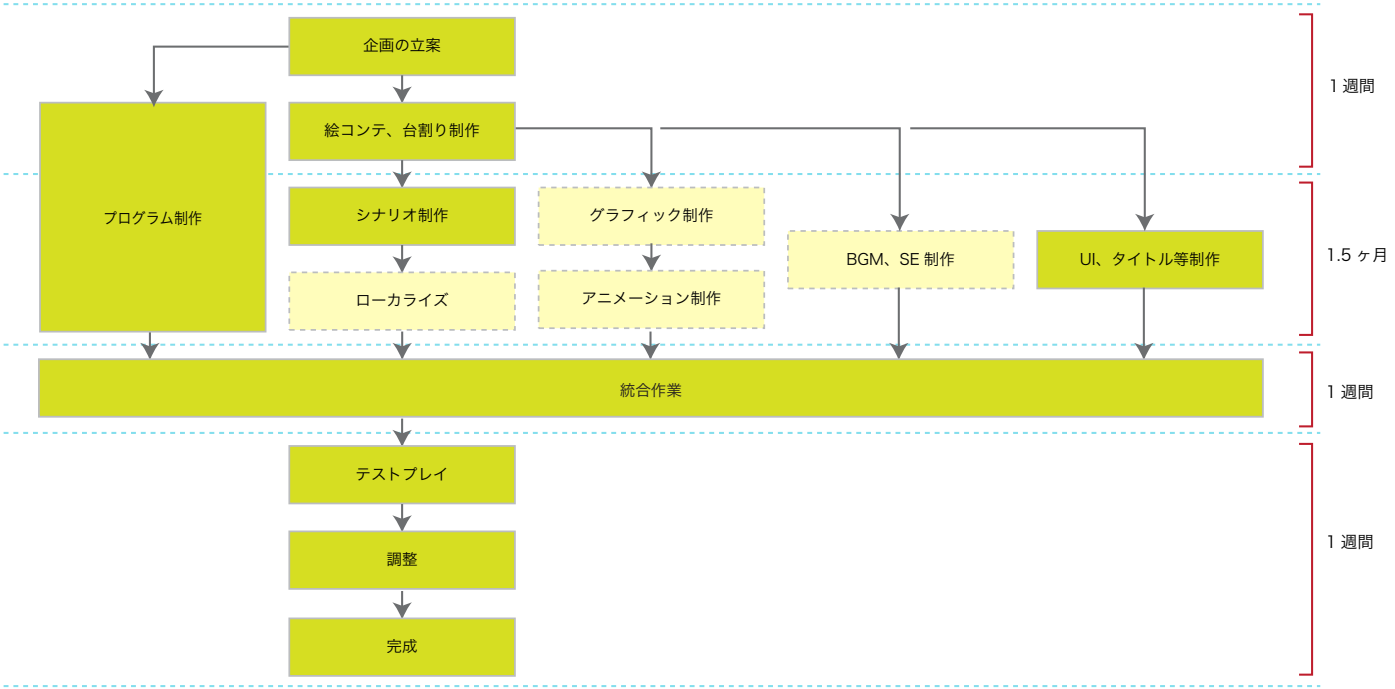
(c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

chap.5

資料ー電子書籍アプリ制作までの手順

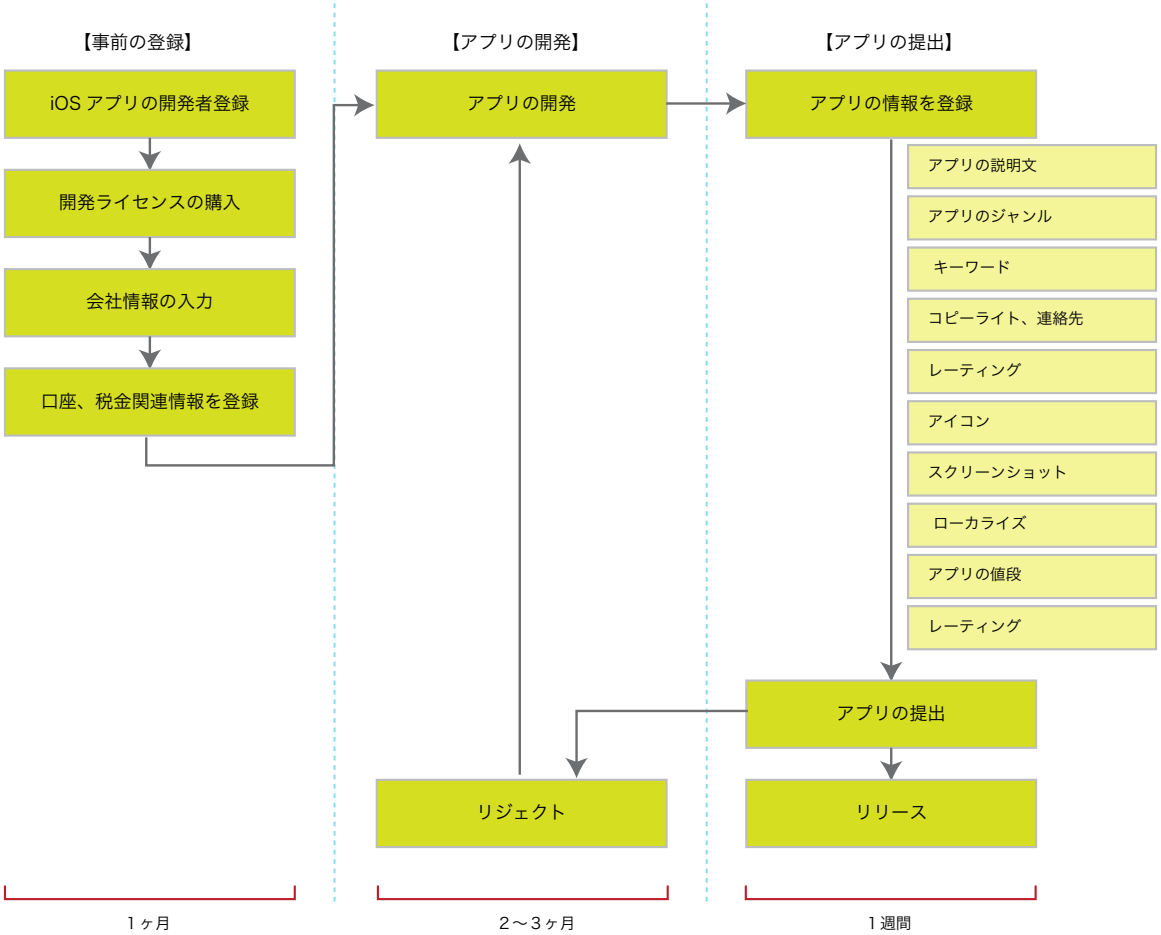
 (c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

電子書籍アプリ制作のフロー



 (c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

アプリ開発→販売までのフロー



 (c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止

1）デベロッパー登録

iOS アプリを作って、有料でリリースするために必用な手続き

■DevCenter にアクセス
Apple のデベロッパーセンターで
iOS アプリの開発者登録をおこないます。
http://developer.apple.com/

■Apple ID を作成します。

■開発ライセンスの購入をします。
Apple ID の登録後、
「スタンダードプログラム」という開発者登録の支払いに進みます。
年間 10,800 円です。

■会社情報の入力。
会社情報や住所などを入力する際、必ず半角の英数のみで入力します。
→文字化けをおこしてしまい、登録が完了しないことがあります。
→たとえば、弊社の場合ですと、
会社名は「株式会社ムームー」ではなく
「Muu Muu Co.,Ltd.」として登録しています。

■購入手続きの完了後、登録した Apple ID 宛てにメールが届きます。
会社の登記簿を US の Apple 社宛てに FAX してほしい、というメールです。
登記簿の書類等は日本語のままで大丈夫です。

■Contact Info の入力
→財務関係の窓口を入力します。
弊社の場合は、Company Contact の役職をすべて同じ人で登録していますが、
とくに問題はないようです。

■Bank Info の入力
→アプリの売り上げを入金してもらうための口座情報を登録
英語で記入する必要があるので、
銀行の窓口で直接確認するのが確実です。

■Tax Info の入力
→税金についての登録。

■アメリカの企業ではないことの宣誓
→Tax Info の入力時に、
「アメリカに開発機材も従業員もいません、アメリカの企業ではありません」
という宣誓をおこないます。これにより、アメリカでの課税が免除されます。

だいたいここまでで一ヶ月弱かかります。

2）提出

提出に必要な情報です

■アプリの情報（メタデータ）を登録します。
-Description
→iTunesStore で表示されるアプリの説明文です。

-Primary Category
→アプリのジャンルを指定します。

-Subcategory
→ゲームアプリの場合、サブカテゴリを指定できます。

-Secondary Category (optional)
→プライマリカテゴリ以外で、あてはまりそうなカテゴリがあれば入力します。

-Keywords
→iTunesStore の検索ボックスに入力したらアプリがヒットする単語を入れます。
例えば「ムームー」「絵本」「アプリのタイトル」等です。

-Copyright
→例　2011 , Muu Muu Co.,Ltd.

-Contact Email Address
→Apple が、このアプリについて何か連絡をする際の連絡先です。

-Support URL
→必須です。問い合わせ先のページを作ります。

-App URL (optional)
→オプションです。アプリの紹介ページ等を作っている場合は、記入します。

-Privacy Policy URL (optional)
→必要であれば用意してください。弊社では使用していません。

-Review Notes (optional)
→アプリの審査時に留意して貰いたい事がある場合は、
ここに記入します。

■レーティング
・性的な表現や、暴力描写、アルコール、タバコ、ギャンブルなどの表現が
どのくらい含まれているか、チェック項目に答えていきます。
このチェック項目に回答にあわせて、レーティングが決まります。

■アイコン
・アプリのアイコンを登録します。
→レーティングに引っかかる表現はできません。
たとえば、ヌードのアイコンを使用すると、Apple から NG が出ます。
アプリをリリースできません。

■スクリーンショット
iTunesStore に表示させるアプリのスクリーンショットを用意します。
最低 1 枚必要です。最大 5 枚まで登録できます。

■ローカライズ
英語のメタデータ以外に、
日本のストアで表示するための日本語のメタデータも入力します。
各国ごとにストアの情報を入れることが出来ます。

■Rights and Pricing
・アプリの値段を設定します。
各国の通貨単位にあわせてマトリックス表があります。
Tier 0（無料）から　Tier85（85000 円）までもあります。
→開発者は、販売価格の 70%を得ることが出来ます。

・価格の変更や、期間限定のセール等の指定もおこなえます。
アプリをリリースした後も、自由に変更が出来ます。

■iAd
もし、iAd をアプリ内で表示している場合は、
「17 歳以下もターゲットにしているアプリである」
といったチェック項目に回答する必要があります。

■提出
・必用なメタデータの登録が終わり、アプリが完成したら、
アプリを専用ソフトで Apple のサーバへアップロードします。

・だいたい 7 日間で審査が完了し、
何か問題があった場合は、
Apple から差し戻し（リジェクト）があります。

・もしリジェクトされた場合は、
リジェクトの理由も教えてもらえますが、
英語だったり、日本語だったり、まちまちです。

・修正して再提出をしないと、審査をしてもらえません。

・リジェクトの理由に納得いかない場合は、異議申し立てもできますが、
こちらの主張が通じるかどうかは、よくわかりません。

・どういったアプリがリジェクトされるかについては、
Apple からガイドラインが公開されています。
→このガイドラインは不定期に更新されます。

3）リリース後

■アップデート
・アプリを少しでも修正した場合は、アップデートの手続きが必用です。

・どこを修正したかの簡単な説明をそえて、
もう一度アプリを審査に出します。

・審査の長さは 7 日くらいですが、アプリによっては時間がかかることもあるようです。

■フィードバック情報
リリースしたアプリについて、
開発者が知ることの出来る情報は下記のとおりです。

・DL 本数、DL された年月日、DL された国
→レポートが毎日届きます。
・iTunesStore のレビュー
→これは自分でストアに行ってチェックします。

4）開発者ガイドライン
Apple から、日本語で詳細なマニュアルが提供されているので
それを読めばだいたいわかります。

(c) muumuu.,co.,ltd. all rights reserved. 無断転載禁止